

教育委員会定例会（平成19年8月）会議録

1 日 時	平成19年8月6日（月） 16:00 ～ 19:00
2 場 所	新居浜市立泉川公民館 O A室
3 出 席 者	委員長 太 田 恵理子 委 員 栗 田 敬 子 小 野 正 師 宇 野 征 一 教育長 阿 部 義 澄 事務局長 池 内 貞 二 総括次長 日 野 清 次 長 真 鍋 智 明 次長兼館長 前 垣 芳 郎 課 長 高 橋 康 文 岩 崎 幸 夫 近 藤 清 治
4 教育長の 一般報告	(1) 7月分行事報告及び8月分行事予定について
5 記録者氏名	社会教育課 日野 里美
6 会議の概要	<報 告> 教育長の一般報告について <選 挙> 選挙第1号 新居浜市教育委員会委員長の選挙について (委員長 栗田敬子) <指 定> 指定第1号 新居浜市教育委員会委員長職務代理者の指定について (委員長職務代理者 小野正師) <その他> (1) 平成19年度教育懇談会結果報告について (2) 平成19年度教育委員会取組方針の進捗状況について (3) 教育3法の概要について (4) 見守り隊情報交換会の開催について

太田委員長	<p>それでは定刻が参りましたので、平成19年第8回新居浜市教育委員会定例会を開催致します。本日の会議録署名委員は、栗田委員さん、小野委員さんをお願い致します。会期は本日限りといたします。平成19年第7回の定例会会議録の承認は宇野委員さん、栗田委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは教育長さんからの一般報告をお願い致します。</p>
阿部教育長	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>7月の主な行事についてご報告いたします前に、先月の6月20日に、ふじグループ代表の藤井博文氏から神郷小学校へ、昨年に引き続き児童図書の寄贈がありましたことをご報告いたします。子どもたちの豊かな心をはぐくみ、感性、表現力の一層の向上に活用させて頂きます。</p> <p>それでは改めて、7月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>7日 第44回「新居浜を明るくする運動大会」が開催されました。記念講演として弁護士の佐伯継一郎氏が「変わる母と子の絆」を演題として、ユーモアも交えて語られました。また、小中高校生の代表4名による優秀作文の発表では、内容の深まりに大変感動させられました。</p> <p>8日 身体障害者チャリティー第10回近県拳法道選手権大会が、四国四県の小学生から成人までの選手の参加をえて、山根総合体育館で開催されました。</p> <p>10日 新居浜市共同調理場運営委員会が、新居浜市学校給食センターで開催され、給食の試食会の後、平成18年度中学校給食会計報告、中学校給食選択率等年次経過報告、地産地消の取組状況等が説明されました。</p> <p>11日 第9回西日本小学生ソフトボール大会への出場が決まった、金子スポーツ少年団と中萩JSSの選手及び関係者が市長へ報告に来られました。</p> <p>第38回新居浜市民体育祭打ち合わせ会が開催され、開会式や各種目競技等について協議されました。</p> <p>12日 横須賀市で開催される、2007ザバスカップ全国選抜リトルリーグ野球大会に、四国大会予選を勝ち抜いた、新居浜リトルリーグ選手ほか関係者が、市長に報告に来られました。</p> <p>14日 台風4号の接近に伴い、公民館等が避難所として開設されました。全国各地に甚大な被害が発生いたしましたが、当市は被害が報告されませんでした。</p> <p>18日 第89回全国高等学校野球選手権愛媛大会新居浜市営球場での始球式に参加いたしました。</p> <p>この日と19日、8月6日に1学期の成果と反省として、各学校</p>

長と教育長との情報交換会がもたれました。

19日 平成19年度国際交流アメリカ訪問団第1回事前研修会が開催されました。今年から、中学校の1年生と3年生のみで、ホームステイによる学校生活の相互交流として実施されます。10月末の出発まで語学を含めて異文化での生活体験をする心構えを養ってもらいたいと思います。

20日 第59回県総体新居浜市選手団結団式が、文化センター大ホールで、選手、監督、役員、478名が参加して行われました。

新居浜市学校給食研修会が、学校給食関係者の衛生管理等の意識高揚を促し、学校給食の一層の充実を図るため、給食に携わっている栄養士、調理員、配膳員、運転手、配送員、搬送員等、給食関係者220名が参加して行われました。研修では、泉川小学校調理員の越智正江さんによる「安全な給食を提供するための衛生管理について」の発表や、笑いと健康等の講演が行われ、大変有意義な研修となりました。

21日 夏休みよんでんグループの科学体験フェスタが開催されました。イベントのひとつとして、新居浜市小中学生科学奨励賞の特選受賞者4名による作品発表会が行われました。

公民館ルネサンス塾として「公民館の管理運営について考える」のテーマで開催されました。

朝の雨天が心配されましたが、午後からもちなおし、惣開校区の夕涼み会や多喜浜校区の塩田讃歌と踊りの発表大会が、校区の住民の参加で盛大に開催されました。

また、少年スポーツ大会のソフトボールの部が11チーム約200名の選手の参加を得て開催されました。優勝は垣生校区、準優勝は宮西校区、3位は中萩・惣開校区となりました。

22日 第21回世界スカウトジャンボリーに参加する高校生等6名の派遣壮行会がもたれました。約3週間の期間、イギリスで155カ国、約40,000人が「ひとつの世界、ひとつのちかい」のテーマで開催されるそうです。

学校茶道合同茶会が、保・幼・小・中・高・高専の生徒が中心になって開催されました。テーマが「夏休み」として、学年による捉え方に楽しみを感じました。

少年スポーツ大会のバレーボールの部が開催され、体育館の中が蒸し暑かったけれど、選手の機敏なプレーが見られました。6年生の部の優勝は金栄JVCと神郷JVCが時間切れによる同率優勝、3位は泉川JVC(B)、角野JVC(A)、5年生の部、優勝は神郷JVC、2位つばさJVC、3位は金栄JVC(B)と中萩JVCとなりました。

23日 新居浜市小学校水泳記録会が、中萩小学校・金子小学校

を会場として開催されました。平常日にもかかわらず、各会場とも、保護者の声援が力強い応援の声として響いていました。

24日 別子銅山記念図書館で、恐竜博士「真鍋 真 講演会」が多くの参加者の中で開催されました。愛媛県図書館の「子どもと本の出会い推進事業」として実施され、新居浜市出身の故真鍋 博氏の長男真鍋 真氏による講演会を行うことにより、こどもの読書活動の推進を図るねらいで、別子銅山記念図書館でも講演を実現することができました。質問コーナーでの、恐竜に対しての子どもたちの強い興味・関心からの質問に驚きました。

25日 多喜浜小学校での防災教育の実践として、多喜浜校区における平成16年度台風災害の実態調査と防災マップの作成への取り組みとして、小学生5・6年生27名、教職員・自治会・消防団等のサポーター約100名により「多喜浜防災まちあるき」が実施されました。午後からのまちあるきを支援するため、昼食には参加者全員に校区婦人会からのカレーライスが準備されていました。また、8月3日に「多喜浜防災図上演習」のワークショップが実施され、8月25日に「まちあるき発表会」が開催される予定です。

26日 第23回若葉カップ全国小学生バドミントン大会愛媛県代表中萩JBC選手9名と第8回全国小学生ABCバドミントン大会に県代表として出場する2名の選手、監督、協会役員、保護者が市長へ全国大会への出場報告にこられました。夏休み期間中の大会でもあり、他の選手との交流によりさらに大きく成長を期待したいものです。

26日と27日にNHK合唱コンクールが開催され、小学校では、金賞に新居浜小・泉川小・高津小、中学校では、西中が金賞を受賞し、4・5日の県大会に東予地区の代表として出場することになりました。

28日 金子校区の「ラブ金子ふるさと夏まつり」が小学校グラウンドで盛大に開催され、多くの地域の皆さんが楽しいひと時を過ごされました。

29日 市民の森で夏休み親子野外教室が開催され、20組42人の親子が参加しての自然観察が行われました。

30日 平成19年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会が西条市で開催されました。

31日 子ども議会が開催されました。昨年までは「子どもと教育を語るつどい」として、小・中学生の夢や希望、毎日の生活を通しての思い等について語って頂きましたが、今年は市制施行70周年事業「子ども議会」として発展させ、市長さん各部局長さんにも協力頂き、児童生徒の要望に応じていただきました。一般質問のほかに、特別議案第1号が船木中学校高橋 凜さんから「各学校にお

ける防災学習の推進について」と題して提案され、審議の結果、賛成多数で議決されました。参加者の新居浜を愛し、よりよい町にしたい、よりよい学校にしたいという思いが、ひしひしと伝わってきました。

県総体の報告会が行われ、主な成績として、見事優勝にバドミントン男子・女子団体 中萩中、陸上女子団体 川東中、新体操女子団体 南中、惜しくも準優勝に卓球男子団体 南中、バドミントン男子団体 船木中、女子団体 大生院中、個人として、陸上女子砲丸投げ大会新記録14メートル01で川東中 横井優貴さんが優勝するとともに四国大会と全国大会への出場が決定しております。これらの選手は4・5日の四国中学校総合体育大会に出場いたしました。

なお、全国大会へは、陸上川東中 横井優貴さんが四国大会砲丸投げ1位となり宮城県利府町で行われる大会に行きます。新体操女子団体3位の南中は青森県弘前市で行われる大会に参加します。バドミントンシングルスでは、男子は船木中、女子は中萩中が、またダブルスでは中萩中男女2チームが福島県須賀川市で行われる大会に参加することとなっています。

8月2日 夏休み子ども探検隊が別子銅山記念図書館で開催されました。応募の小学生が参加し、普段見ることができない図書館書庫や郷土資料室を見学、本が書架に並ぶまでの仕組みや便利な図書館活用方法を学びました。

夕方から台風5号の影響を受け始め、水防本部が設置されるとともに、公民館へ自主避難する方々が来館するようになり、避難所の開設をいたしました。3日の早朝には無事自宅へ帰られました。避難所としては10施設、26世帯の32名が自主避難をしました。また、小中学校に台風による被害はありませんでした。

3日 夏期巡回NHKラジオ体操・みんなの体操会が山根市民グラウンドで開催が予定されていましたが、台風5号のため中止されました。

教職員救急救命講習会が開催されました。

また、社会教育委員会議が開催され、議長・副議長が選出され、今後の公民館のあり方等についてのご意見を頂きました。

4日 市制施行70周年記念男女共同参画啓発標語及び写真入選者表彰式、にいほま女性フォーラム'07講演会が実施されました。

4日と5日 少年スポーツ大会のサッカーの部が開催されました。高学年の部11チーム、低学年の部11チームの約250名が参加しました。高学年の部の優勝は高津教室、準優勝は金子教室、3位は神郷教室と角野教室、低学年の部の優勝は、宮西教室、準優勝は中萩教室、3位は神郷教室と高津教室でした。

	<p>5日 市民一斉清掃に、教育委員会職員は荷内海岸の環境美化活動に参加しました。</p> <p>また、あすなろ教室で不登校の生徒を対象としての進路相談会が開催されました。保護者13名、生徒5名が参加しました。</p> <p>少年スポーツ大会のミニバスケットボールの部が開催されました。Aブロック8チーム、Bブロック5チームの約180名が参加しました。当日の体育館内は午前中、かなりの湿度となりましたが、選手の皆さんは機敏にプレーをしていました。Aブロックの優勝は高津A、準優勝は中萩A、3位は新居浜西と金子でした。Bブロックの優勝は神郷、準優勝は中萩B、3位は新居浜小と高津Bでした。</p> <p>その他、8月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>9日 子ども環境サミット、シベリア抑留関係展示会</p> <p>10日 第45回四国中学総体報告会、研修主任研修会（金沢報告）</p> <p>18日 第4回公民館ルネサンス塾</p> <p>22日 特別支援教育講演会</p> <p>23日 新居浜市小中学校防災教育研修会</p> <p>24日 生徒会交流会、第4回教頭研修会、中学校新人体育大会（水泳）</p> <p>26日 新居浜市総合防災訓練</p> <p>27日 人権・同和教育講演会</p> <p>28日 第2回教務主任研修会、子ども見守り隊情報交換会</p> <p>29日 小中学校教職員救命救急講習</p> <p>30日 「新居浜市夢広がる学校づくり推進事業」選考委員会</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p>
太田委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の一般報告について、ご質問、ご意見ございますか。夏休みに入って、いろいろな研修会や講演会が催されていますが、よろしいでしょうか。</p> <p>はい、それでは進めます。選挙第1号及び指定第1号につきましては、人事案件でございますので、新居浜市教育委員会議規則第37条の規定により、秘密会とさせていただきます。よろしいでしょうか。</p>
<p>栗田委員</p> <p>小野委員</p> <p>宇野委員</p> <p>阿部教育長</p>	はい。
太田委員長	<p>それでは、先にその他の議題に入ります。平成19年度教育懇談会の結果報告について、事務局から報告をお願い致します。</p>

高橋学校教育課長	はい、お手元の「平成19年教育懇談会結果報告」の資料をご覧ください。 ＜資料に基づき説明＞
太田委員長	ありがとうございました。教育懇談会について報告があったのですが、来年度以降も開催するとして反省点が挙がっているのですが、委員さんでご意見がある方はいますでしょうか。 こちらが意図することが、伝えたい方になかなか伝わらないという感じがあるのですが、保護者の方が参加しやすい会にするにはどうしたらいいのか、知恵をお持ちの方は出して頂けたらと思うのですが、いかがでしょうか。小野委員さん。
小野委員	はい。保護者の方ということで、市P連の役員会のような、PTAの関係者の方と教育懇談会を試みるのはいかがでしょうか。公民館関係の方など、地域の方はずっと参加して頂いているのですが、保護者の方は、どうしても参加が大変なようですので、市P連の役員会のようなものもあれば、その時に時間を取らせて頂き懇談会をさせて頂くというのも一つだと思います。これは、保護者だけを考えればの意見ですが。
阿部教育長	市P連の役員会に教育委員が出向いて行くということですか。
小野委員	そうですね。市P連の方には教育委員会の取組方針をどこかで発表されているのでしょうか。
阿部教育長	はい、発表しております。
小野委員	発表されているのですね。
阿部教育長	3月の定例教育委員会で承認された後、小・中の校長会と、4月初めに市P連の新・旧会長会で資料を配り説明しております。
小野委員	その時に、教育長さんと、PTA役員の方との意見交換の時間を取られていますか。
阿部教育長	取っていますが、説明に終わっています。
小野委員	地域の方にご参加頂くのは、なかなか難しいですね。
阿部教育長	はい、実は今ちょうどキャリア・スタート・ウィークが始まってい

	<p>ます。すでに終わった企業へ数件訪問させて頂きました。その中で、生徒指導に関する事や、企業へ来た時の子どもについての意見を聞きました。その際に、教育懇談会のテーマの話をしてしまいましたが、企業には通じていないのを感じました。ですから、地域に支援してもらおうと言いながら、企業への浸透というのは、教育委員会の伝達の仕方にあるのか、学校側の呼びかけ方にあるのか、保護者の方にあるのか、そのあたりを含めて来年度までに検討する事が必要ではないかと思えます。先ほど、高橋課長から説明がありましたが、一年目は教育委員会で教育懇談会の日程・開催場所を設定し実施しましたが、今年度は、小・中学校と公民館で設定してくださいという形を採りました。その方向性について、もう一度考えてみて、12月ぐらいには結論を出したいと思えます。</p>
太田委員長	<p>その他よろしいでしょうか。栗田委員さん。</p>
栗田委員	<p>はい。反省点にも書かれていますのですが、ポイントをどこに置くかによって、せっかく「学校へ行こうデー」にしたとしても、子どもの事は見るけど、教育懇談会には残らない、残れない時間帯になってしまうという事ですよね。それならば、夜にしてくれたら良かったのというご意見を頂いていますので、夜に開催するのも良いと思えます。</p> <p>また、私も全部参加させて頂いていますが、社会教育の関係の方たちが来られて人数的には微増にはなっていますが、保護者に関しては減っているような感じを受けました。そうすると、どこにポイントを持って行って、何について話し合っていくのか、もう少し考えてみた方が良くないかと思えます。</p> <p>人数というよりも内容の密度の濃いものの方が良いのか、それとも人数が多い方が良いのか、私自身もちょっとわかりませんが。人数が増える事はありがたいのですが、極端に減っている所もありますので、その辺りをもう少し問題にして欲しいと思えます。</p>
太田委員長	<p>はい、よろしいでしょうか。宇野委員さん。</p>
宇野委員	<p>はい。教育懇談会の時間帯についてですが、学校の先生が参加するという事になれば、今のような時間帯になりますし、保護者の参加を増やそうとすれば、今の時間では問題があると思えます。</p> <p>例えば、パート勤めをしているお母さんの場合、わざわざパート勤めを休んで、子どもの授業の姿を見るか、教育懇談会に出席するかと考えると、子どもの方をとると、そういう事を聞いた事があります。ですから、本当に保護者に参加して頂きたいのなら、夜が良いと思えます。保護者だけでなく教育委員会の話を各学校の校長さんからそれ</p>

阿部教育長	<p>ぞれの先生方が聞いているかもしれないけれども、新居浜市の教育の方向性というのが何か伝わってないような感じがします。ですから、学校の先生方も奮って参加して頂くと教育委員会の思いがわかるので、先生も地域の方も保護者の方にも聞いて欲しいと思いました。</p> <p>反省点にもありますが、聞く側は長時間になると苦しいと思うので、ポイントを絞って短縮すべき部分はあると思います。懇談という形ですが、参加して質問して意見を述べてというのが難しいと思うので、説明中心ではなくて、問題を投げかけて意見が返ってくるような戦略を考えるべきかもしれません。</p> <p>今の宇野委員さんの言われた事について、教職員が教育委員会の取組方針について理解できていないのではないかと、捉えられているようなのですが、その点につきましては4月の校長会、または教頭や教務主任の研修会、教科・教科外主任研修会という形で教育取組方針についてずっと説明をしてきています。それでも理解できていないとなると、あとどのような方法があるのかと思います。</p>
栗田委員	<p>私も教育懇談会に参加した際に、教職員の先生方が一生懸命メモを取って聞いてくださっている様子がうかがえました。教務主任までおろしていったとしても、その他の一般の先生方が機会に恵まれないのであれば、果たしてその会は効果があったかなと思います。トップから下ろすのも良いですが、こういう形で懇談会の中で先生方と一緒にできて良かったという印象を受けました。</p>
阿部教育長	<p>もう一度思い出して欲しいのですが、1月初めに原案を作って、校長会を通じて説明をして、資料を配布して1月末までに職員会を開いて各学校からいろんなご意見をもらっているんですよね。それと同じものを教育委員さんにもお配りしていると思います。そして、それを元に3月やっていますので、全然知らなかったというのは教職員の資質に欠けるという風に捉えてしまうのですが。</p>
宇野委員	<p>それはそういう意味ではありません。先生方は、取組方針を文章として表していますので、それは見えています。でも、例えば教育長が語るその言葉の中で、先生方が頷ける部分があると思います。文章だけでは十分伝わりにくい部分、理解しにくい部分があっても、言葉として捉えた時に、「なるほど、そうなんだ。」と、先生方が教育長の話を頷きながらメモを取っている姿を私は見ました。ただ文章だけではなくて、言葉の中で、説明の中で頷けることがあるのだと思いました。</p>
栗田委員	<p>取組方針だけでなく、「確かな学力を身につける」とか他にもありま</p>

阿部教育長	<p>したね。そういう部分でも、先生方はメモを取られていました。</p> <p>以前、新居浜市の小・中全教職員を集めての研修会を4月に開催したり、または年に1回11月頃に教育事務所の発表大会がありました。ただ、学校週5日制が実施され始めて、授業時数の確保のためにカットすることになりました。平成5～6年頃まで市内の全教職員を集めていたのですが、そこで教育長や学校教育課長から取組方針の説明があったと思います。ただその時にも、教科・教科外主任研修会がありました。その主任研修会だけ残して、研修にさける時間を極力子どもと向き合える時間にしてきました。ですから、教育委員会の取組方針を徹底するには、以前のような全教職員を集めるやり方が良いのか、今のやり方が良いのか制度まで見直しをしなければならないと思います。</p>
小野委員	<p>よろしいでしょうか。先生方に対する取組方針の伝達・発表については、全員を集めて何時間か徹底的にするべきだと思います。</p> <p>教育懇談会については、地域の方や保護者の方が参加されますので、そこに先生方も入って頂き、もう少しやわらかいテーマでざっくばらんに話し合いを持つと良いのではないかと思います。</p>
阿部教育長	<p>結論はまだとして、学校教育担当次長としてどう思いますか。</p>
真鍋次長	<p>はい、確かに以前は全教職員を集めてしていました。全員が聞いたという形はできますが、大勢の中で意識を持って聞けるかどうかとなると難しく、削減した経緯をみると、復活するのは、やはり難しいのではないのでしょうか。今は教科・教科外主任研修会など教育長さんが言える時には言っている場面も数多くあり、そこでも相当の教職員が聞いているはずです。同じ事を何回も繰り返し聞かないと、範囲が広い分、自分の担当以外はあまりしっかり聞けていない部分も出てくるのだと思います。</p>
太田委員長	<p>取組方針の徹底という事と、教育懇談会の事は、分けて考えた方が良いと思います。</p> <p>教育懇談会で、保護者の参加を促したいということであれば、保護者がどんな事を聞きたいのか、どんな話に関心があるのか、PTAにアンケートを行うなどして把握し、関心事を足がかりに意思疎通を深めればよいのでは・・・と考えます。</p>
阿部教育長	<p>はい、それも一つの方法として、どういう風な見直しをしていくのかいろいろなお提案を頂きたいと思います。ただ、先ほどの取組方針</p>

	<p>の徹底については、学校週5日制になってから、時間の取り合いの状況です。それでも学力低下論争がありましたし、学習指導要領が恐らく今年から来年にかけて改定されてくると思います。この中で、10パーセントの授業時数を学力の充実に持っていくということになっています。しかし、土日の授業復帰ということは制度的に難しいという状況です。</p> <p>保護者と教職員、それぞれを対象とした2通りの場面を設定して、取り組み内容を考えていきたいと思っています。</p>
太田委員長	<p>よろしいでしょうか。少し思うのは、伝えることも対象も絞らないといけないのではないかとということです。全員を一同に会して全員の連携を図るとい事も大事なのですが、全体をあまりにも考えすぎると、ポイントが無くなるような気がします。話題も対象も絞った方が良いかと思っています。</p>
阿部教育長	<p>はい。</p>
太田委員長	<p>それでは、教育懇談会の件はよろしいでしょうか。</p> <p>その他の(2)平成19年度教育委員会取組方針について、事務局からお願い致します。</p>
阿部教育長	<p>はい、今話題になっていました教育委員会取組方針ですが、1学期が終わりましたので、どういう状況になっているのか、その成果、経過等について報告をしたいと思います。各担当の課長からお願いします。これまでの取組み、今後の予定についてお願いします。</p>
高橋学校教育課長	<p>学校教育課からご説明いたします。お手元の資料をご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p>
日野総括次長	<p><資料に基づき説明></p>
高橋学校教育課長	<p><資料に基づき説明></p>
近藤学校給食課長	<p><説明に基づき説明></p>
前垣図書館長	<p><資料に基づき説明></p> <p>市立図書館から学校図書館を見ますと、学校図書館をもっと有効に充実させるには、専門の人の配置が必要だと思っております。ちなみに、松山市では「学校図書館運営指導員」制度を平成15年度から実施しています。この内容は、学校長が指定した日で、月に10日程度</p>

(週3日か2日)、1日4時間程度、時給861円で、市民公募により各学校に「運営指導員」を雇って、司書教諭とともに学校図書館を運営しています。その職務内容は、(1) 図書の購入及び計画の支援、(2) 図書の整理業務、(3) 図書の管理業務、(4) 図書台帳の整備業務、(5) その他、図書館運営・教育に関する司書教諭等の支援です。

去る7月30日月曜日に、私は平成19年度松山大学公開講座「学校図書館実践論」を受講して参りました。出席者は、学校図書館関係者が大部分でしたが、松山大学人文学部の中川准教授が、平成15年4月の学校図書館法改正に伴い「学校に司書教諭の配置」が定められたことにより、「学校図書館の管理運営及び司書教諭に関する現況調査」を松山市教育委員会の協力を得て、松山市内の小・中学校にアンケート調査を実施したという報告がありました。その中で、この支援員制度の問題点として、「平成15年度から臨時職員として図書館支援員が配置された。それはよいことであるのだが、特に問題なのは勤務時間が週12時間という、あまりにも短いこと。これでは目録作成やデータベース化などの継続的、計画的な業務はできない。5日間フルタイムにすべき」との中川氏の所見がありました。学校図書館の本来の目的である「学校の教育課程の展開に寄与する」ためには「学習活動に役立つ図書や情報が備えられ、いつでも必要な時にこれらの図書や情報を児童・生徒自らが選択・収集して活用できかつ、児童・生徒の疑問や質問に対応できる人が学校図書館にいる必要があるという「学習情報センター機能」が一つあります。また、児童・生徒の健全な教養を育成するために、子ども達が日々の生活の中で、本の世界に触れて、読書習慣を培うという「読書センター機能」が二つ目にあります。教員の授業の構成に役立つ「教材情報センター機能」が三つ目にあります。これら三つの機能を果たせる学校図書館への充実を図って、学校図書館で「図書館をつかいこなせる」児童・生徒を育成しなければ、いつまでたっても公共図書館も貸出図書館に過ぎないという印象が続いていくと思っています。

私どもの市立図書館も、ただ単に「本を借りるところ」とのイメージが長く続いているのも、小さい子ども時代の図書館のイメージを持っている大人が多いということだろうと思います。

いじめ、不登校問題が今の教育の解決すべき大きな課題であり、その課題解決のためにも、学校図書館の果たす役割は重要だと思います。本を通して、子ども自身が自分の心と向かい合い、自分を見詰め、試行錯誤を繰り返しながら、自分の意見を持って、長い人生をいやでも歩まなければなりません。自分で判断する能力を身につけるには、学校図書館、それに続く高校・大学図書館、そして私どもの公共図書館の力は無限の可能性を持っていると思っています。

今後の情報交換会では、このアンケート調査等の結果を参考に、学

	校図書館の重要性、課題等について協議しながら、学校図書館の充実に寄与できるようにしたいと思います。
日野総括次長	<資料に基づき説明>
岩崎体育文化課長	<資料に基づき説明>
太田委員長	はい、ありがとうございました。取組方針の進捗状況を丁寧にご報告頂いて、ありがとうございました。 うまく進んでいない点や、改善点はございますか。委員さんからご質問があればお願い致します。栗田委員さん。
栗田委員	はい、資料3ページにあるキャリア・スタート・ウィーク事業で、実際に自分の家で事業をしている親御さんに聞いたのですが、自分の子どもが来たということでした。丁稚奉公ではありませんが、できれば他の所へ行かせて欲しかったと言われていましたので、来年からはそのような事が無いように検討して頂ければと思います。 次の3番目の項目のところで、昨年度の電気使用料が一昨年よりも削減の大きい学校、小・中学校各1校へ本を購入とありますが、どの学校だったのでしょうか。
阿部教育長	金栄小学校と角野中学校です。
栗田委員	はい。それと次の防災教育のところですが、先ほどの行事予定での8月26日の総合防災訓練とは関連させないのですか。
高橋学校教育課長	それは別です。総合防災訓練は市全体で行うものを、川西地区の小学校区ですということですよ。
阿部教育長	それで、惣開小学校は惣開校区の分で参加します。それには教職員も参加します。他の所は地域の人が参加となります。
栗田委員	下の⑥の子どもの人権保護についてですが、「虐待等の報告」と書かれています、実際の数を把握されているのでしょうか。
高橋学校教育課長	把握しておりません。
栗田委員	児童相談所の関係で、実際に虐待を受けた児童と関わったのですが、小学校の先生がかなりご苦労なさっていました。その親御さんにとっては、その先生だから聞いてくれるというところがあって、担任の先

	<p>生だった先生が対応されているとお伺いしました。その先生にとって、時間を取られて大変だと思いますが、その先生でないとだめみたいでした。児童福祉課からお願いをして、先生に来てもらっているのですが、それを教育委員会が把握しているのかと思いましたが、お尋ねしました。できれば、児童福祉課とも連携をとって、先生方のフォローに務めて頂きたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>次に、7の小・中学校の通学区域の弾力化の推進のところですが、おじいちゃん、おばあちゃんになる方々が、昔の感覚のまま、弾力化というのが理解できていない部分があって、お嫁さんとのトラブルのようなものがあるようです。もう少し、市民が全体的に理解して頂かないと「そんな事をしてもいいの。」という話がありましたので、「認められているんですよ。」と言っているのですが。昔の感覚のまま、「この学校に行かなければならない」と思われているようです。最初の2年間ぐらいは広めて頂いていたのですが、以後、おじいちゃん、おばあちゃんの知る機会が少なくなった気がしますので、お願いしたいと思います。</p> <p>最後の図書館のところで、情報交換会の資料を見せて頂いたのですが、司書教諭資格が無しとなっているのは、情報交換会に参加された先生の資格は無いけど、実際の司書教諭はいるという事ですか。</p>
前垣図書館長	<p>司書教諭資格というのは、この情報交換会に来られた担当者が持っているかどうかです。</p>
栗田委員	<p>司書教諭資格を持っている先生が、学校にはいるということですか。資格の無い先生の場合もあるのでしょうか。</p>
真鍋次長	<p>9学級以上の場合に司書教諭を置くことになっています。小規模校の場合は、司書教諭資格が無い場合もあります。</p>
栗田委員	<p>今後、達成率100パーセント以下の所は、どういう呼びかけをするのですか。</p>
前垣図書館長	<p>達成率（「図書標準」を100とした場合の、蔵書冊数の比率）につきましては、資料の廃棄の所を見て頂くとわかりますが、廃棄が進んでない学校が多く見受けられます。情報交換会において、古い図書、利用価値が無いような時代に合わない図書の廃棄する基準が分かりにくいという事でした。そこで学校教育課の方で基準を示して頂きたいとの意見がありました。学校教育課の先生が出席されていたので、今後検討されると思います。</p> <p>この資料を見て、達成率が高いから良いと捉えて頂きたくないと思</p>

	<p>います。たくさんあっても、古い資料が多いと意味がありませんので、そのような点を、ご理解頂きたいと思います。</p>
栗田委員	<p>はい、わかりました。</p> <p>それと、南高の生徒が角野小学校に読み聞かせに行っていると伺いしたのですが、そういう情報は入っていますでしょうか。</p>
前垣図書館長	<p>私自身は聞いておりませんが、司書が聞いているかもしれません。</p>
栗田委員	<p>そのように高校生が小学校に、本や紙芝居を作って、実際読み聞かせをされているようです。</p>
前垣図書館長	<p>司書がそういった事を私に申したいような気もいたします。具体的な事まで聞いていませんでした。</p>
栗田委員	<p>最後に、国際交流のところですが、フランクリン市から高校生10名が新居浜市に来られた時の引率の先生は何名いたのですか。</p>
高橋学校教育長	<p>1名です。</p>
栗田委員	<p>では、こちらから行く時は。</p>
高橋学校教育課長	<p>生徒が20名で、引率の先生は2名です。</p>
栗田委員	<p>今までの引率の数とちょっと違うので心配されている方もいらっしゃるのですが、アメリカからは1名だけだったのなら、大丈夫ですね。</p>
太田委員長	<p>よろしいですか。その他、ご質問は何かございませんか。小野委員さん。</p>
小野委員	<p>はい、質問はございませんが、教育委員会の取組方針を今まで何度も聞かせて頂いたのですが、進捗管理も含め今日は大変わかりやすくご説明頂き、ありがとうございました。</p>
太田委員長	<p>よろしいでしょうか。教育長さん、よろしいでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>はい。</p>
太田委員長	<p>では進めます。その他の(3)教育3法の概要について、ご説明を</p>

	<p>お願いします。</p>
池内事務局長	<p>それでは、お手元の資料をご覧ください。 <資料に基づき説明></p>
太田委員長	<p>ありがとうございました。教育3法の改正についての説明をして頂きました。よろしいでしょうか。 それでは(4)見守り隊の情報交換会の開催についてのお知らせをお願いします。</p>
日野総括次長	<p>お手元の資料をご覧ください。 <資料に基づき説明></p>
太田委員長	<p>はい、よろしいでしょうか。その他に頂いている資料の報告をお願い致します。</p>
高橋学校教育課長	<p>1件だけよろしいでしょうか。お手元に「平成19年度教職員提案制度の提案」というのがあると思いますが。昨年度は「夢広がる学校づくり」と一緒にして大変時間がかかったので、今年は別に2時間程時間を頂いて決定したいと考えております。教育委員さんの都合の良い日程をお決め頂けたらと思うのですが、よろしくお願い致します。</p>
太田委員長	<p>この場で日程を決めるのですか。</p>
高橋学校教育課長	<p>また後日でもかまいませんが、できればお願い致します。</p>
太田委員長	<p>「夢広がる学校づくり推進事業」選考委員会は、8月30日木曜日ですが。</p>
阿部教育長	<p>時間は。</p>
高橋学校教育課長	<p>時間は、15時40分から18時30分までの予定です。</p>
太田委員長	<p>教職員提案制度の方は、期日はあるのでしょうか。</p>
高橋学校教育課長	<p>特にありません。大体2時間くらいの時間を設定して頂けたらと思います。特に、いつまでに決めなければというのはありません。</p>
太田委員長	<p>9月に入ってからでもよろしいでしょうか。</p>

阿部教育長	9月の定例教育委員会の前はでしょうか。
小野委員	何時間ぐらいですか。
高橋学校教育課長	1時間半から2時間ぐらいを予定しています。3名ですので、できればその場で決定したいと考えております。
小野委員	差し支えなければ、定例会の前の14時からはいかがでしょう。
阿部教育長	別の日にするよりも、定例会の日にしますか。
太田委員長	はい。では9月の定例会と同日の、9月6日14時から「教職員提案制度」のヒアリングを実施します。
太田委員長	「夢広がる学校づくり事業」の資料は日程のお知らせという事によりよろしいでしょうか。
高橋学校教育課長	はい。8月30日です。
太田委員長	はい、8月30日15時40分から始めますので、よろしくお願いいたします。その他のお知らせはありませんか。
前垣図書館長	はい、図書館要覧が出来ましたので、またお目通し下さい。
太田委員長	不登校に関する参考資料について、教育長さんお願いします。
阿部教育長	今日は、7月分の最終締切日だったので、担当に無理を言って提出してもらいました。 グラフの資料を見て頂けたらと思うのですが、小・中合わせて、6月末は67名、7月末は70名です。 <資料に基づき説明>
栗田委員	ある学校の不登校の態様の多くが「意図的な拒否」となっていますが、その中に「遊び・非行」も入るのでしょうか。
阿部教育長	各人のデータはこちらに持ってきてないのですが、全部「意図的」となっている、それぞれ違ってきています。
小野委員	理由がはっきりしてきた事は、良い事だと思います。家庭に問題がある等わかってきたので。それについては、もう少し場所を変えて、

	<p>細かな情報を頂いて是非検討させて頂けたらと思います。</p>
阿部教育長	<p>はい。</p>
小野委員	<p>今までは、表面上の理由の方が主でしたが、家庭状況等一步踏み込んだ所まで入っていただけます。数字の結果云々は別として、問題解決まではなかなか至らないとは思いますが、先生方も問題点に着実に近づき一生懸命に対応されているのが出てきていると思います。</p>
阿部教育長	<p>個々の内容を把握できることについて、また考えてみたいと思います。</p>
太田委員長	<p>はい、お願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>次に、1学期中の不審者情報8件について、主な内容等を書いておきます。次のページの1学期における「内容別不審者情報件数同時期比較」について、やはり、保護者や地域の見守り隊の効果で、件数が減少しているのではないかと思います。</p>
小野委員	<p>不審者情報を見て思うのですが、怪しい人の特定はできないのでしょうか。地元の人間だと思うのですが。</p>
阿部教育長	<p>地元の人とは限りません。車で移動できますので。</p>
小野委員	<p>似顔絵を作成する等、現行犯でなければいけないかもしれませんが、怪しい人は何とかしないといけないと思います。</p>
太田委員長	<p>不審者情報は、警察にも報告しているのですか。</p>
阿部教育長	<p>はい。あと、今年から高校の分も入れるようにしています。</p>
太田委員長	<p>はい、わかりました。最後に、愛媛県中学校総合体育大会の成績報告についてですが。</p>
阿部教育長	<p>先ほど、教育長報告の中でご報告した通りです。 小野委員さんのところでも、キャリア・スタート・ウィーク事業で子どもたちがお世話になっておりますが、教育長報告の中でお話したように、何件かお世話になった会社にお伺いし、代表者の方とお話しました。その時に、「学校で挨拶は教えないのですか。」とまず言われました。「自分の経験では、大半の学校で、朝、また毎授業の初めと終</p>

<p>太田委員長</p>	<p>わりに挨拶はしています。ただ、全ての学校がそうであるかどうかという心配はあります。朝、学級担任が行った時に、『おはようございます。』とか終わりの会の時に『さようなら。』はみんなでやり取りしています。」と言ったのですが、「うちに来た子どもは、中学2年生なのにモジモジして声が小さいし、何しにきたのかと聞いても黙ってじっと立っていた。まず、来てもらった時に、食品関係を扱っている会社なので、『髪が長髪の場合は問題がある』という話と、人が人と会った際には、『おはようございます。』『はい、わかりました。』『ありがとうございます。』『お疲れ様でした。』の4つをはっきり言えるようにという話をして、5日間、毎朝、大声で言えるまで、会社の入口で練習をしてから仕事に取り組んだ」という事でした。</p> <p>ただ、今の子どもたちには、ここ2～3年不審者情報が出てきて、不審者を出さないためのあいさつ運動を見守り隊の人と一緒にするよようにという呼びかけをしていますが、それより以前は、子どもたちに、知らない人に声をかけられたら無視して走って逃げるよう指導をしていました。今の体制では、その辺りの徹底がきちっと出来ていないので、協力して頂きたいという話をして終わりました。</p> <p>やはり、社会人として大切な言葉なので、ある起業家からも「おはようございます。」「はい、わかりました。」「ありがとうございます。」「お疲れ様でした。」という紙を渡して実習するよようにという指導がありました。</p> <p>また、第一次産業の所へ行った時も、「今の子どもは挨拶をしない。」と言われました。学校で挨拶するよようにと2年生の担任は指導しているはずなのですが、実際現場で役立っていないのが分かりました。</p> <p>今日、取組方針の進捗状況についての報告をしましたが、教育委員会が取り組んでいる事業について、生の声を聞くことが大切だと思いました。各担当課でやる場合は、その事業の成果・評価を今後見直して欲しいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>はい。ありがとうございました。その他よろしいでしょうか。</p> <p>それでは秘密会での審議に入ります。</p> <p>次回は、9月6日の木曜日16時から開催致します。</p> <p>これをもちまして、第8回新居浜市教育委員会定例会を一度閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p><以下、秘密会></p>
--------------	---

新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。

委員名

委員名

--	--